

# 第2回 鵠川・ピリカ・プロジェクト ～美しい川をめざして～

## 河道の変遷

平成19年3月22日

北海道開発局 室蘭開発建設部 苫小牧河川事務所

KP0～KP5

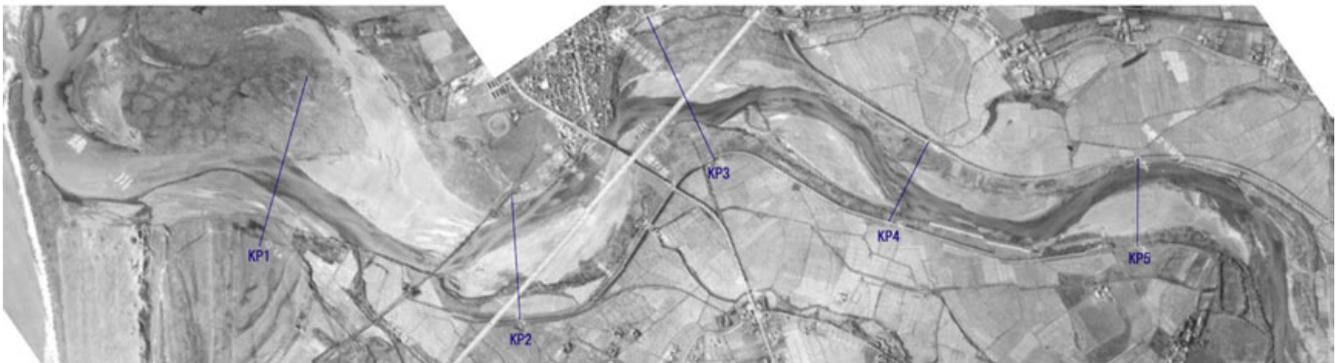
昭和22年

- ・砂州の形成や発達が著しく大規模である
- ・河岸の堤防が未整備である



昭和42年

- ・砂州の形成や発達が著しく大規模である



昭和58年

- ・鶴川橋上流右岸高水敷に河川環境整備事業によるタンポポパークが整備された
- ・水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られる
- ・砂州上の樹林化が見られる



平成17年

- ・鶴川橋上・下流左岸高水敷に河川環境整備事業によるシシヤモパークが整備された
- ・河口部に人工干潟が造成された



KP5～KP10

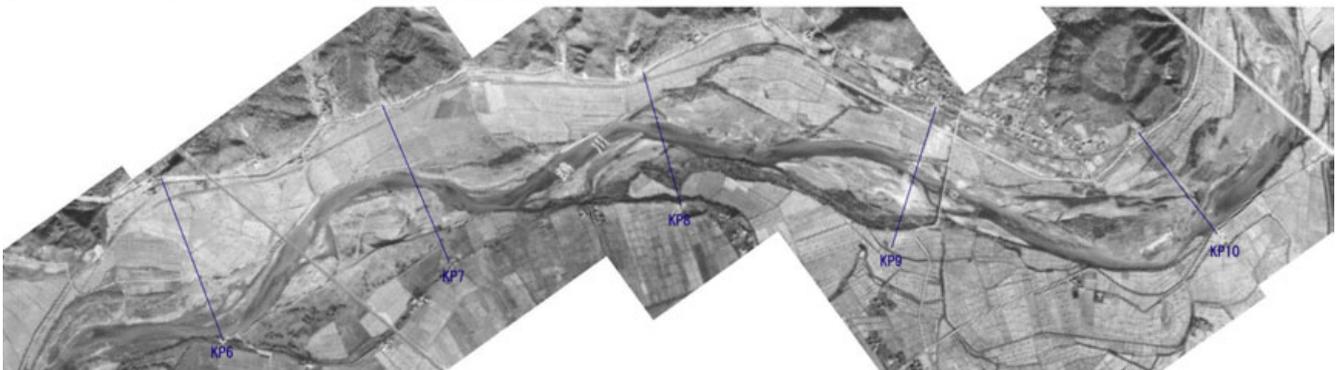
昭和22年

・砂州の形成や発達が著しく大規模である



昭和42年

・砂州の形成や発達が著しく大規模である



昭和58年

・水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られる  
・一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

・砂州上の樹林化の拡大が見られる



KP10～KP16

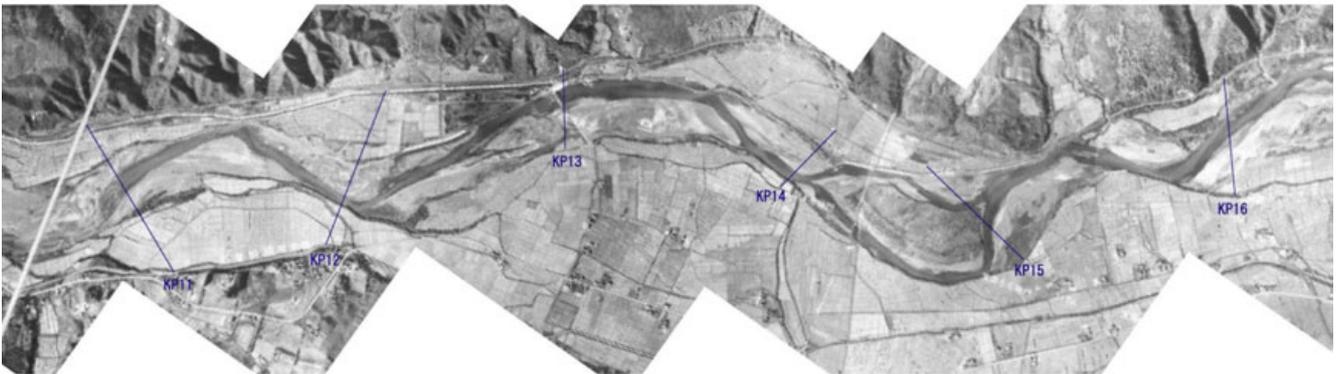
昭和22年

・砂州の形成や発達が著しく大規模である



昭和42年

・砂州の形成や発達が著しく大規模である  
・川西頭首工が整備された



昭和58年

・分流していた水脈筋が一本化  
・一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

・高水敷は牧草地としての利用が進んでいる



KP16～KP20

昭和22年



- ・砂州の形成や発達が著しい
- ・堤防が未整備である

昭和42年



- ・砂州の形成や発達が著しい
- ・川東頭首工が整備された

昭和58年



- ・一部に砂州上の樹林化が見られる

平成17年



- ・高水敷上は牧草地として利用されている

KP20～KP25

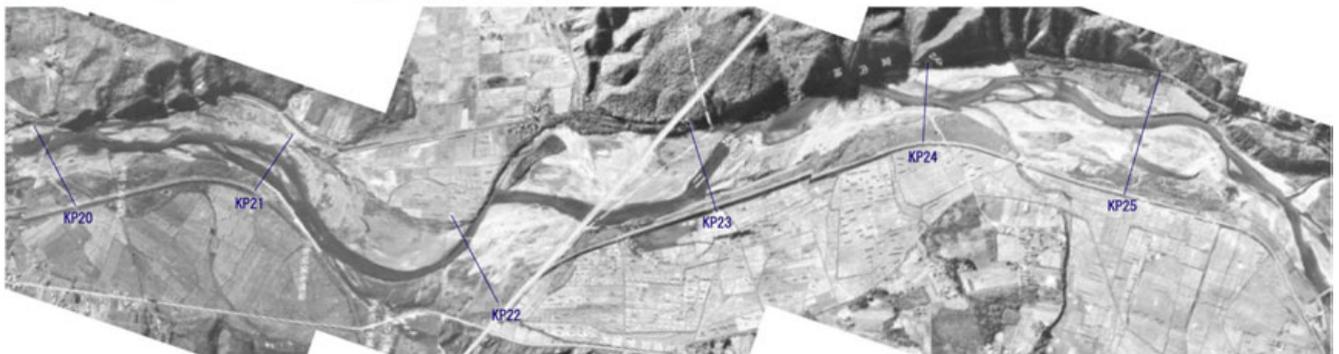
昭和22年

・砂州の発達が著しく、河道が大きく蛇行している



昭和42年

・砂州の形成や発達が著しい



昭和58年

・水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られる  
・一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

・砂州上の樹林化が進んでいる



KP25～KP31

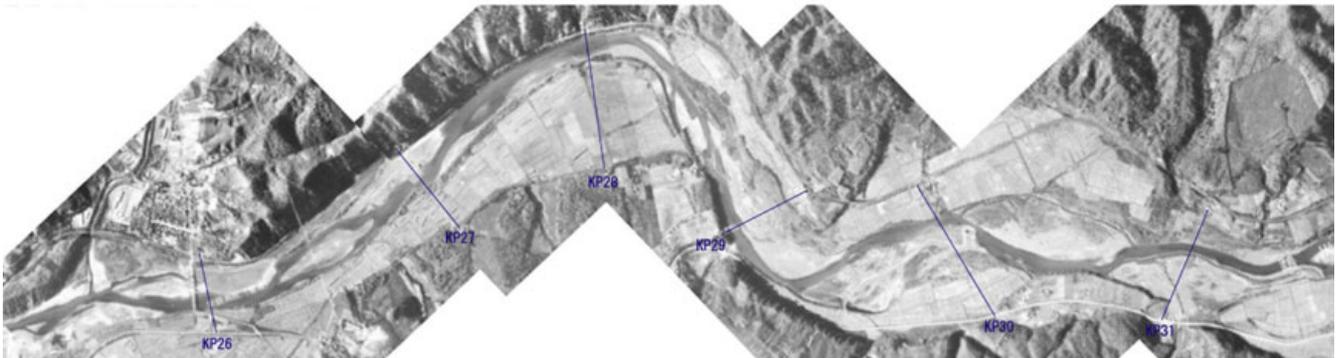
昭和22年

・砂州の形成や発達が著しい



昭和42年

・砂州の形成や発達が著しい



昭和58年

・一部に水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られる  
・一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

・砂州の樹林化が進んでいる



KP31～KP37

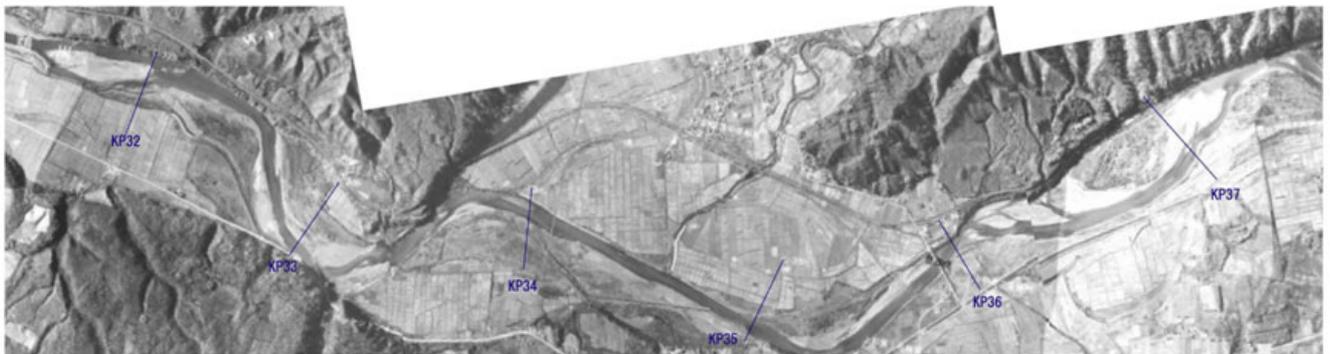
昭和22年

- ・ 右岸に旧河道が見られる
- ・ 堤防が未整備である



昭和42年

- ・ 砂州の形成や発達が著しい



- ・ KP34～ 36km 区間右岸に豊田築堤が整備された
- ・ 水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られる
- ・ 一部に砂州上の樹林化が見られる

昭和58年



平成17年

- ・ 一部に水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られるが、大規模な変動や変化ではない



KP37～KP42. 4

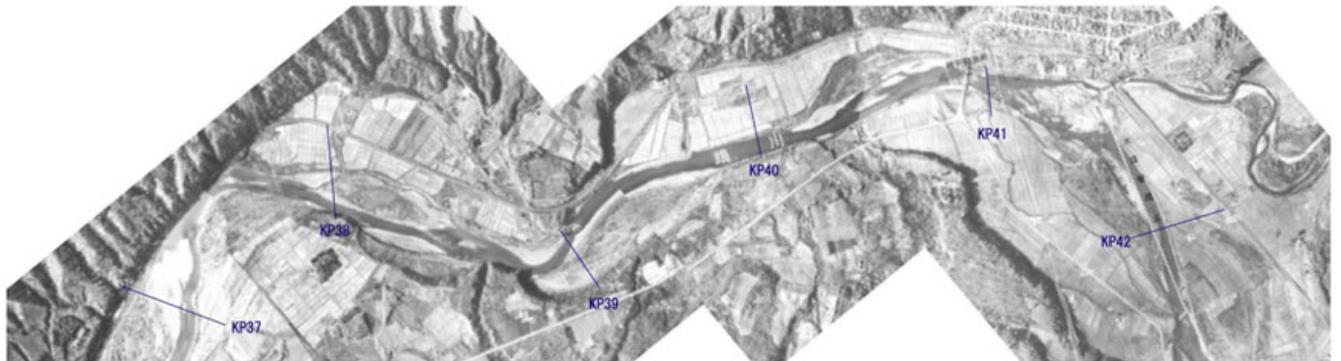
昭和22年

・堤防が未整備である



昭和42年

・砂州の形成や発達が著しい



昭和58年

・穂別橋下流左岸地区に穂別築堤が整備された  
 ・穂別川合流点付近で砂州の形状変化が見られるほかは大規模な変動や変化は見られない  
 ・一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

・左岸側高水敷上に環境整備事業によるリバーサイドパークが整備された

